

## 甲斐市議会建設経済常任委員会会議録

1. 開催日時 平成27年6月19日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

---

### 出席委員（6名）

委員長	赤澤厚君	副委員長	池神哲子君
	清水正二君		米山昇君
	山本英俊君		藤原正夫君

### 欠席委員（なし）

### 傍聴議員（7名）

議長	有泉庸一郎君		金丸幸司君
	五味武彦君		斉藤芳夫君
	長谷部集君		内藤久歳君
	保坂芳子君		

---

### 説明のため出席した者の職氏名

建設産業部長	飯室崇君	建設課長	岩下和也君
商工観光課長	長田裕二君	建設総務係長	高橋努君
建設管理係長	高須秀樹君	建設土木係長	興石文明君
建設開発指導係長	二宮千栄君	商工労働係長	三井美樹君
観光交流係長	森澤篤史君		

---

### 職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	武川訓	書記	山岡広司
書記	有野恵里		

## 審査内容

### 1 条例等審査

議案第49号 市道路線認定の件

### 2 補正予算審査

議案第48号 平成27年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）

### 3 その他

開会 午前 9時28分

○書記（有野恵里君） 改めまして、おはようございます。

連日のご参集、大変お疲れさまです。

これより建設経済常任委員会を開会いたします。

初めに、委員長よりご挨拶をいただき、引き続き委員長の進行により議事を進めてまいります。

それでは、赤澤委員長、よろしくお願いいいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 改めまして、おはようございます。

早朝よりご苦労さまでございます。

心配していたお天気も何とかもちそうで、一安心したところでございます。

きょうは、本定例会において付託された議案を皆さん方に慎重審議をしていただくことになっていきますので、よろしくお願いをしたいと思います。

以上です。ご苦労さまです。

ただいまの出席委員は5名でございます。定足数に達しておりますので、これより建設経済常任委員会を開会します。

なお、山本英俊委員におかれましては遅刻の連絡がありましたので、ご報告をいたします。

本日の会議を開きます。

---

○委員長（赤澤 厚君） 本日の委員会は、今定例会初日に付託された議案の審査を行います。

審査については、一問一答方式で簡略に質問され、また、市当局の答弁もわかりやすく説明をしていただきますようお願いを申し上げます。

なお、本日は、委員会条例第19条第1項の規定により、委員外議員の傍聴を許可しておりますので、ご承知おきください。

審査については、委員の質疑を受けた後、傍聴議員の質疑を受けたいと思います。傍聴議員の質疑はさきに申し合わせたとおり、会派の割り当て人数により行います。質問は1問とし、再質問も1回までといたします。

審査に入る前にお諮りいたします。本日は円滑な審査を行うため、お手元に配付した審査日程（予定）により審査を行いたいと思いますが、ご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認め、そのようにいたします。

それでは初めに、条例等の審査を行います。

議案第49号 市道路線認定の件につきまして議題といたします。

本日は、過日の委員会で確認した路線以外の現地踏査を行います。

説明に入るまでに、飯室建設産業部長より発言の申し出がありますので、これを許可いたします。

飯室部長。

○建設産業部長（飯室 崇君） どうも、おはようございます。お疲れさまでございます。

発言の許可をいただきまして、まことにありがとうございます。

実は、前回6月2日に開催しました常任委員会で、市道路線認定予定の現地視察をしていただきました。その後、この場所におきまして質疑をしていただいたわけですが、その折、米山昇委員から、甲斐市宅地開発行為等指導要綱での瑕疵担保は何年かというふうなご質問をいただきました。

岩下課長のほうから、瑕疵担保については3年でありますというふうなご答弁をしたところでございますけれども、委員会終了後、要綱を再度確認をいたしましたところ、2年というふうに定められておりますので、ご訂正をお願いし、おわびを申し上げるところでございます。まことに申しわけございませんでした。

以上でございます。ありがとうございました。

○委員長（赤澤 厚君） 私のほうからも一言申し上げます。

執行部の皆様方におかれましては、答弁等は慎重に発言のほどをよろしく願いしたい、一言申し上げておきます。

それでは、本日の路線について、当局の説明をお願いいたします。

岩下建設課長。

○建設課長（岩下和也君） おはようございます。よろしく願いいたします。

それでは、市道路線認定についてご説明をさせていただきます。よろしく願いいたします。

議案第49号 市道路線認定につきましては、道路法第8条の規定により本定例市議会に

おいて議決をお願いするものでございます。

議案集31ページ、32ページ、議会資料28ページになります。よろしく申し上げます。

議案集31ページで説明をさせていただきます。

今回、認定をお願いする路線につきましては、9路線になります。6月2日に開催しました常任委員会で、既に4路線の現地視察は済んでおりますので、本日、残りの5路線について現地視察をお願いし、9路線についての認定をお願いするものでございます。

表の1番上から5番目、路線番号282、松葉宅造3号線、路線番号283、北浦宅造1号線、路線番号284、北浦宅造2号線、路線番号285、北浦宅造3号線、路線番号286、北浦宅造4号線の5路線お願いいたします。

本日確認していただく路線につきましては、いずれも宅地分譲に伴う開発区域内の道路の認定でございます。詳細につきましては、現地で担当から説明をさせていただきますので、よろしくお願いいたします。

それでは、現地視察のほうをよろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

質疑については、現地踏査の後、委員会室に戻ってから行います。

ここで、現地踏査にかかわる委員派遣についてお諮りいたします。お手元に配付した派遣計画書により委員を派遣することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。

よって、計画書のとおり派遣することに決定しました。

なお、派遣承認申請は委員長において作成し、議長に提出したいと思いますが、これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認め、そのようにいたします。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前 9時35分

再開 午前10時49分

○委員長（赤澤 厚君） それでは、会議を再開いたします。

現地踏査、ご苦労さまでございました。

それでは、これより審査に入ります。

先ほどの現地踏査を踏まえ、議案第49号 市道路線認定の件について、委員の質疑を受けます。

質疑はございますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） どうもご苦労さまです。

きょうはかなりの路線認定ということで、いろいろ見たんですけれども、感じたことなんですけれども、これは議員さんみんなそうだと思うんですけれども、きょうのところは大分舗装状態がよかったですけれども、前回のどこでしたっけ、竜王地区でしたっけ……

〔「敷島」と呼ぶ者あり〕

○委員（藤原正夫君） 敷島のところでしたっけ、大分舗装なんかも悪いということで、市道を認定するんですから、この後のいろいろなメンテナンスを考えると、業者にもよくですね、十分皆さん施工方法、あるいはしっかりしたものがなっているかということで確認した上で、何といたしますか、よりよい本当の市道、アスファルトといたしましてもいろいろあるわけですから、そういうところをお願いしたいということなんですけれども、何かそれについてお答えができたらお願いをしたい。よろしく申し上げます。

○委員長（赤澤 厚君） 岩下課長。

○建設課長（岩下和也君） ただいま委員さんのほうからご意見をいただきました。私たち担当といたしましても、開発事前協議から始まりまして、手続を進める上で、開発業者に対しそのような指導を徹底してまいりたいと考えておりますので、今後よろしく願いいたします。

○委員（藤原正夫君） はい、ありがとうございます。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

そのほか質疑ありますか。

米山委員。

○委員（米山 昇君） これは答えをもわらなくていいですが、あそこでもちょっと言いましたけれども、北浦の宅造1号線から4号線まで分かれていますけれども、行ってみたらば、

実際には全部につながっているということですから、これ一本化でもって認定はできないものなのかどうか、また検討してもらって、起点終点が必ず1本でなきゃならないということなのか、であってもこれ枝というか、そういうものがあれば、1本でできるのであればまとめたらどうかと思いますので、またその辺を検討していただきたいということで、要望でいいです。

○委員長（赤澤 厚君） 要望でいいですか。

じゃあ、検討要望ということでお願いします。

そのほかございますか。

[発言する者なし]

○委員長（赤澤 厚君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を受けます。

傍聴議員、質疑ございますか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） これは所管とは関係はあんまりない、市民活動支援課の分になると思うんですけども、開発した後のその地域の区への編入とか、そういったことについての、あるいは開発するときに業者に対してどういうことを言っているのか、それから地元との協議というか、そういうようなところは、開発を許可するほうの立場として、どんな形と、要するに市民活動支援課と連携をしながら、要は建った後どうするか、こうするかと、結構意外と多いですね。入ってきちゃ困るとか、嫌だとかという、そういう問題があって、その辺の調整をやはり横断的にやっていくことも必要ではねえかなと思うけれども、その辺のところはどんなぐあいになっているのか。

○委員長（赤澤 厚君） 暫時休憩します。

休憩 午前10時52分

再開 午前10時53分

○委員長（赤澤 厚君） 会議を再開します。

岩下課長。

○建設課長（岩下和也君） 地元の自治会等の調整につきましては、実際、事前協議から開発

についてはスタートするわけですが、それを進める上で、開発手続を進める上で、区長さん、地元の衛生委員さん、そしてあと学校区の関係、そういうものを同意とか、区長さんなんかには同意をいただいた中で進めておりますので、開発の済んだ後、そういう区に入るとか、例えば組に入るとかという、そういう構成については私どものほうでは指導はできないんですが、開発の中では、そういう積極的な自治会の協力については指導していきたいと思えます。ただ、あと、それ以上になりますと、子育て支援課とかいろんな課の関係がございますので、それについては、また開発業者のほうへ指導したいと思っております。よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） そういうことで、特に自治会の加入とかということになると、ああやって十何戸と開発しちゃうと、みんなまとめてうちは自治会入らないよとかっていう、そういうことになってしまう部分も結構、甲斐市全体として自治会への加入者が少なくて問題だということ、各自治会で問題としてあるわけで、その辺のところを、やっぱり開発するときにはきちっとしたそういう道筋を立てるようなことでやっていけば、比較的そういう問題も、自治会への加入、未加入という部分に対しては、ある程度対策として立てられる部分もあると思うので、今言われたように、学区の問題とか、そこに人が住むということは全ての面に関係する部分があるので、その辺も、先ほどもちょっと言ったけれども、各所管で横断的に考えて開発のときにもう少し知恵を出して、そういうことが解決できるようなことに取り組んでもらえればいいなというふうに思いますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 要望でいいですね。

○議員（内藤久歳君） はい。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

これより討論、採決を行います。

初めに、議案第49号 市道路線認定の件について、討論、採決を行います。

まず、本案について討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 討論なしと認めます。

これより議案第49号を採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定されました。

なお、委員会報告につきましてはご一任願います。

以上で議案第49号を終わります。

ここで暫時休憩いたします。

休憩 午前10時57分

再開 午前10時58分

○委員長（赤澤 厚君） それでは、会議を再開いたします。

次に、補正予算の審査を行います。

議案第48号 平成27年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）を議題といたします。

審査に入る前にお諮りをいたします。補正予算の内容により説明を受け、質疑を行いたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） それでは、そのようにいたします。

それでは初めに、商工観光課より、第5款労働費、第1項労働諸費について説明をお願いいたします。

長田商工観光課長。

○商工観光課長（長田裕二君） お疲れさまです。

それでは、商工観光課の補正予算についてご説明いたします。

補正予算説明書の12、13ページをお願いいたします。

5款労働費、1項労働諸費、1目労働諸費、19節負担金、補助及び交付金の013の峡中広域シルバー人材センター補助事業80万5,000円の増額補正予算です。

財源の内訳のその他34万3,000円の増額は、峡中広域シルバー人材センターの構成市であります中央市から21万2,000円と昭和町からの13万1,000円の負担金収入の増額で、一般財源の46万2,000円は甲斐市の負担金分の増額となります。

増額補正の理由については、厚生労働省から峡中広域シルバー人材センターに直接交付される平成27年度の国の補助金の執行方針の変更に伴い、3カ年の平均の会員数と就業延べ日数により算出される補助単価が減額となったため、市補助金は199万5,000円の減額となりますが、新たに女性を含む現役世代の活躍を下支えする人手不足分野等の就業機会を開拓し、高齢者の活躍の場を推進するための高齢者活用・現役世代雇用サポート事業補助金が創設され280万円となるため、補助金総額で80万5,000円の増額補正となります。

以上、補正予算案です。よろしく願いいたします。

○委員長（赤澤 厚君） 説明が終わりました。

これより説明に対する委員の質疑を行います。

質疑ありますか。

藤原委員。

○委員（藤原正夫君） どうもご苦労さんです。

今の説明ですと、27年度分が80万5,000円ということですがけれども、この財源内訳の中に分担金ですから、34万3,000円が中央市ということで、一般財源のほうが甲斐市の分担金という、そういう意味合いですか、ちょっとお願いします。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） はい、そのとおりであります。中央市から21万2,000円、昭和町から13万1,000円、残りの分の46万2,000円が甲斐市分の負担となります。

○委員長（赤澤 厚君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） これは、今年度に限り、27年度分ということで1年間、今の説明だと向こう3年間ということですがけれども、今年度限りという、1年間分だけということですか。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） 3年間に限りということではなくて、補助金の算定をするのにシルバー人材センターの過去3年間の平均ということで、会員数と就業延べ日数ということですから、過去3年間ということではありません。

○委員（藤原正夫君） はい、わかりました。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

そのほかありますか。

米山委員。

○委員（米山 昇君） 説明を聞いていてもわからなかったのですが、国庫補助金が280万が何か新しく制度ができてふえるというような説明だったと思いますけれども、その補助金は市は通さずに、直接シルバーのほうへ入るといったことなんですか。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） この280万の補助金は、国が280万。また、市のほうでも国と同額の補助をシルバー人材センターにしていますので、構成市の3市町でこの280万を負担いたします。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、280万は予算書へは反映されない。どこへ、例えば国から補助金が幾らで、3町で負担金を出して、それをシルバーへ出すとかという形の予算書ではないということですか、ここへは出てこないんだけど。

○委員長（赤澤 厚君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） まず、国の補助金を算定します。大前提に国の補助金と同額の補助金を、市の補助金としても同じ金額を出すということで、その金額が今回総額で1,172万5,000円になったんですが、その1,172万5,000円の内訳の中の国の算定が2つありまして、先ほど課長が申したように、会員等と就業延べ日数で計算する分の、その部分は前年度より減額になりました。新たに新規のサポート事業としての補助金が280万合わさって1,172万5,000円になっていますので、それと同額を市が出すと。だから、今回、もとの予算からの80万5,000円が増額という形になります。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） そうすると、当初予算の中で、もちろん国庫補助金も入っていて、それで減額になる部分と増額になる部分があって、差し引き80万5,000円がふえるということになるんですけども、国庫補助金のほうも当然80万円ぐらいはふえるという解釈で、同額ということになるとふえるということになると思うんですけども、その分の歳入というのは、これには反映されないということでもいいですか。

○委員長（赤澤 厚君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 国庫補助金につきましては、シルバー人材センターのほうへ直接入りますので、うちのほうの予算にはあられません。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） なるほど。じゃあ、国の補助金関係は全て直接シルバーのほうへ、もう当初予算からそういう形で入っていると、わかりました。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） なければ、委員の質疑を終了いたします。

続いて、傍聴議員の質疑を受けます。

傍聴議員、質疑ございますか。

内藤議員。

○議員（内藤久歳君） このシルバー人材への補助金というのは、構成市の3市町がやりますよね。総額で800何万ぐらいあったですかね、当初予算のあれは幾ら。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） 当初は1,092万です。

○委員長（赤澤 厚君） 内藤議員。

○議員（内藤久歳君） 要するに、1,092万にこの80万5,000円ですか、それを乗っけたのが、要はシルバー人材へやるお金ということでしょう。だから、そういうふうに説明してくればわかりやすい。そうしないと、非常にわかりづらいし、中身をね、どうしてこうなったかというのはわかるんですけども、そういうことですよ。

○委員長（赤澤 厚君） 飯室部長。

○建設産業部長（飯室 崇君） 課長、係長のほうから説明をさせていただきましたけれども、今、議員さんおっしゃるとおり、当初予算でシルバー人材センターの運営とか、いろいろな諸々の国庫補助金が予定していたものが減額になった。それが先ほど課長が説明しましたように、従業員数とか会員数とかという、そういうもので減額になったんです。だけど、減額になったんですけども、また新たな事業、先ほど言いました高齢者活用・現役世代雇用サポート事業というふうな事業が新たに出ました。それにも補助金を申請をしたということで、その補助金が減額になったほうは199万5,000円ほど減額になって、増額になったほうが280万円増額になったので、その差し引きを今回補正をさせていただくという形でございます。

以上です。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

五味議員。

○議員（五味武彦君） お尋ねしたいんですけども、評価が変わって減額になったというんですけども、多分これは全国的に、A B C Dかどうかわからないけれども、そういう評価基準があって、甲斐市がどこかに含まれるというふうに思うんですが、全国的にこれが全部評価が下がったのか。例えば、人数とかそれがふえたところがあって、増額したところもあるのか。甲斐市はどういうふうに差が出てきて評価が下がったのかとか、この辺はご説明いただけますか。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） 五味議員のおっしゃるとおり、ランクについてはA、B、Cというランクがあります。そのランクのつけ方については、先ほど私も説明しましたけれども、3カ年の会員数、就労延べ日数、その平均を出しましてランクづけされるんですけども、そのランクの補助単価が今回下がりました。

甲斐市については、一応Bランクというランクに入っておりますので、Bランクの単価が1,092万が897万になりました。今ご質問の中で、ちょっと全国的、ほかのシルバー人材センターのお問い合わせがあったですけども、それについては今、資料等を持っていませんので、ちょっとお答えができません。

○委員長（赤澤 厚君） 五味議員。

○議員（五味武彦君） ということは、甲斐市は常にBランクということで、Bランクの中で数とかそういったものが変わることによって、評価が今回は下がったということではないんでしょうかね。峡中シルバーですか。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） ランクはもう決まっていますので、そのランクについている補助単価が減額となっていますので、ランクが下がったということではなくて、ランクに対して補助単価が決まっていますので、その補助単価が国のほうで減額になっていますので、それで金額が減っているということです。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

有泉議長。

○議長（有泉庸一郎君） 先ほどの課長の説明の中で、現役世代のサポート事業という説明がありましたよね。具体的にはどういう、ちょっとわかりやすく説明してもらえますか。シルバーの現役世代のサポート事業ということですよ。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） このサポート事業ということで、シルバーもことし初めてこの事業に取り組みます。シルバーのほうでもその事業を、どんなものがあるかの検討もしなきゃならないと思いますが、今、こちらのほうでシルバーのほうに聞いたところ、主なものとすれば、今シルバーで考えているのは家事援助サービスですね。

家事援助とは何かというと、お子さんを持っているお母さんがいて、ちょっと子供を1時間でも2時間でも見てもらいたいという場合は、そこへシルバーの方が行って、1時間、2時間見ているとか、あとはご家庭で介護されている方がいた場合に、その方がシルバーにお願いして、ちょっと自分買い物に出たいんだけど、その間ちょっと見ていていただけるとかというようなものが家事援助サービスになるそうです。シルバーのほうでも、まずはそういう家事援助サービスを始めていきたいということで伺っております。

○委員長（赤澤 厚君） 有泉議長。

○議長（有泉庸一郎君） そういうことが現役の世代をサポートするということで、いろいろあると、具体的にはまだ考えているところもあるということですね。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） はい、そのとおりであります。ことし1年かけて、また新しいそういうものを探していくという形になると聞いております。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） なければ、傍聴議員の質疑を終了いたします。

これで商工観光課関係の質疑を終了いたします。

以上で議案第48号 平成27年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）の質疑を終了いたします。

これより本委員会に付託されました議案第48号 平成27年度甲斐市一般会計補正予算（第1号）について、討論、採決を行います。

本案について討論はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 討論なしと認め、これで討論を終了いたします。

これより本案について採決いたします。

お諮りいたします。本案は原案のとおり決定することにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（赤澤 厚君） 異議なしと認めます。

よって、本案は原案のとおり可決すべきものと決定しました。

なお、委員会報告につきましてはご一任願います。

以上で議案第48号の審査を終了します。

それでは次に、その他を議題といたします。

委員の皆様方から、その他についてお聞きしたいことがありましたらお願いいたします。  
米山委員。

○委員（米山 昇君） せっかくの機会ですからお尋ねいたしますが、プレミアム商品券ですね。今、準備状況はどんなぐあいになっているのか。また、今後の予定ですね、いつごろどんなぐあいに進めるというようなことがわかりましたら、お聞かせ願いたいと思います。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） プレミアム商品券ですが、この事業は商工会が販売元となつて行う事業ですけれども、市のほうの対応としましては、まず老人クラブと中学生以下のご家庭に、9,000円で優先的に買える予約券の発行を行います。中学生以下については、世帯主宛てにそのお子さんの名前を書いた予約券を発行させていただいて、老人クラブについてはご本人宛てに1枚の通知を差し上げて、予約券とします。

それで、予約券の発行については、本日の午後、予約券の発送を郵便局のほうにかける予定でございます。あと、今後、商工会のほうとしましては、今週の日曜日ですか、21日にプレミアム商品券を扱える加盟店のチラシを新聞折り込みで配布をするそうです。後は、7月1日からの販売というふうな運びになります。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 予約券はきょうですから、近いうちに該当者のところへは届くということと、あとは7月1日から実際に販売を始めるという日程のようですが、先日、商工会のたしか新聞の折り込みか何かで、このプレミアム商品券の取り扱いを希望するという、そういう募集というか、チラシが入ったと思うんですが、今、またもう一回やるようなお話を聞いたんですけれども、また再度同じようなことをやるということですか。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） 加盟店の募集については、商工会のほうから新聞折り込みではなくて、事業者のほうに通知を差し上げてやっております。

それで、加盟店については、一旦募集のほうを日付で商工会のほうで切らせてもらったん

ですけれども、ある程度の日数、今週いっぱいぐらいまでは随時受け付けをしているそうです。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 何か先ほどと、もう一度新聞折り込みを入れるというような説明だったと思うんですけれども、それは。

○委員長（赤澤 厚君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 先ほど課長が申した21日に新聞折り込みで入れるというのは、加盟店がわかりましたので、加盟店一覧の折り込みを入れさせていただきます。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 募集でなくて、加盟店がこういうところですよという周知ですね。それで、先般募集をして、どのくらいそのためにふえたというか、あったのか、わかりましたら。

○委員長（赤澤 厚君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 全体で256店舗ですが、そのうち地元中小事業者が235、大型店が21になります。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 256ふえたということですか。そうでなくて、その募集してどのくらいふえたのかという。チラシを入れて、前回入れましたよね、新聞折り込みで。それで、応募してきたのがどのくらいあって、今言ったのが多分数字だと思うんですけれども、それはわからない。

○委員長（赤澤 厚君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 加盟店募集は、商工会員の方も商工会員でない方も、全員漏れなく加盟店募集の中には。その中で、手を挙げた方が256事業所あったと。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） じゃあ、わかりました。何しろ256、これが市内の商工会というか、実際取り扱える店ということですね。そして、大型が21ですか。これは市外も含めてということなんでしょうか、市内、市外。

○委員長（赤澤 厚君） 三井係長。

○商工労働係長（三井美樹君） 市外ももともと商工会員の中に入っていれば、加盟店の募集の中で手を挙げられますので、市外も若干ありますが、大型店、その中に1店舗市外があり

ます。

○委員長（赤澤 厚君） 米山委員。

○委員（米山 昇君） 確認のような形ですが、じゃ、21のうちの1店舗が大型店で、市内にある大型店。そして、あとの20は市外で……

〔「市内、逆ですね」と呼ぶ者あり〕

○委員（米山 昇君） あ、市内、逆ですね。20は市内の大型店で、1店舗だけは市外だけれども取り扱いできると、甲斐市のプレミアム券が、そういうことでいいですか。ただし、これも大型店は1万円までだか、何か5,000円までだかという規制があったと思うんですけども、ちょっともういちどいいですか、そこ。

○委員長（赤澤 厚君） 長田課長。

○商工観光課長（長田裕二君） 大型店については、1万2,000円分の商品券なんですけれども、5,000円までが使えます。あとの残りの7,000円は、地元の中小売店ということになります。

○委員長（赤澤 厚君） よろしいですか。

そのほかございますか。

藤原委員、どうぞ。

○委員（藤原正夫君） 今、その他ですか。

○委員長（赤澤 厚君） その他です。

○委員（藤原正夫君） それで、これでもう終わりです。

○委員長（赤澤 厚君） その他ですからもう。

○委員（藤原正夫君） じゃあ、すみません。さっき聞けばよかったんですけども、商工観光課はちょっとあれなんですけれども、さっき、3月に部長は、双葉スマートインターがフルインター化になって、かなり大型車で。そこで、ちょっと二、三聞いたんですけども、周りとかなんとかがやっぱえらいとかなんとかという話があるんですけども、そういうようなことは市のほうへは入ってきますか。そういう何と申しますか、道路がそういうの、ふぐあいがあるとか、ちょっとあれかなということが、そういう意見ありますか。ちょっとあったらお願いします。

○委員長（赤澤 厚君） 飯室部長。

○建設産業部長（飯室 崇君） 今、委員さんのほうからおっしゃっていただいたように、スマートインターチェンジもフルインター化しまして、大型車が通れるようになるというふう

な形で、12メートル以下のものがございますけれども、今のところ、私、3月のときは都市計画課におりましたので、それを手がけていたわけですけれども、4月以降、担当のほうにも、何かそういう苦情とか、例えば近隣の方から苦情があるかとか、看板のことについてどうだとかというようなことも担当のほうに聞いておりますけれども、特別そういった苦情等はございません。

いずれ、今後またこの委員会において、どのくらいの例えば実績があるのかというふうなことが、出入りにつきましてはNEXCOのほうで管理しておりますので、またそちらのほうから数字等をいただいて、実際に大型車がどのくらい出入りがあったのかというふうなことも、またこの委員会のほうへはご報告するようというふうに担当課長のほうには言ってございますので、また折を見て報告をさせていただきたいと思っております。

○委員長（赤澤 厚君） 藤原委員。

○委員（藤原正夫君） ありがとうございます。

ぜひ、7月、8月ごろ、夏休み過ぎたころでいいですから、ぜひこのデータというものをNEXCOのほうから出していただきたい、このように思います。よろしく申し上げます。

○委員長（赤澤 厚君） そのほかございませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） なければ、事務局はありますか。

〔発言する者なし〕

○委員長（赤澤 厚君） それでは、以上をもちまして当委員会に付託されました議案は全て終了いたしました。

委員の皆様方におかれましては慎重審議大変ありがとうございました。

これにて建設経済常任委員会を閉会といたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午前11時22分